

【科目コード：建 002】

科目名	建築 CAD I	科目区分	専門
履修時間	68 時間	講義コマ	34 コマ
開講学期	通年	授業形態	実習
対象学年	1 年	単位数	2 単位
担当講師	宮城 敦	実務経験	建築設計事務所勤務経験

【授業のねらい】

CAD の基本操作を習得し、敷地図・設備図・部分詳細図などのさまざまな図面の作図方法を紹介する。

【授業の展開計画】

(各 4 時間)

- 1 Jw_CAD を使う準備/Jw_CAD の基本
- 2 作図の練習/製図の準備
- 3 配置図兼平面図の作図
- 4 屋根伏図の作図
- 5 断面図の作図/立面図の作図
- 6 木造簡易平面図のかき方
- 7 RC 造簡易平面図のかき方
- 8 鉄骨造簡易平面図のかき方
- 9 異なる縮尺の図を 1 枚の用紙に作図
- 10 塗潰しと画像挿入
- 11 照明・コンセント図の作図
- 12 空調・換気設備図の作図
- 13 給水排水設備図の作図
- 14 敷地図・面積表
- 15 日影図
- 16 天空図・天空率
- 17 試験

【履修上の注意事項】

出席率が 1 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40 点満点) と試験点数 (60 点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

やさしく学ぶ Jw_CAD (敷地図・日影図・天空図・部分詳細図・設備図)

【参考文献・その他】

特になし

【科目コード：建 003】

科目名	建築計画 I	科目区分	専門
履修時間	68 時間	講義コマ	34 コマ
開講学期	通年	授業形態	講義
対象学年	1 年	単位数	4 単位
担当講師	内間 直樹	実務経験	建築設計事務所勤務

【授業のねらい】

建築物を計画するための基本的な考え方や計画手法について学ぶ。

【授業の展開計画】

(各 4 時間)

- 1 建築計画の概要 1 : 建築計画の意義／計画の進め方／空間と造形
- 2 建築計画の概要 2 : 構造計画／設備計画／避難・防災計画
- 3 建築計画の概要 3 : 室内環境計画／設計図書の作成
- 4 住宅の計画 1 : 住宅のあらし／住宅計画の進め方
- 5 住宅の計画 2 : 独立住宅の計画
- 6 住宅の計画 3 : 二世帯住宅の平面計画／設備計画
- 7 住宅の計画 4 : 演習問題／実例
- 8 集合住宅の計画 1 : 集合住宅のあらし／計画の進め方
- 9 集合住宅の計画 2 : 集合住宅の平面計画／各部の計画
- 10 集合住宅の計画 3 : 演習問題／実例
- 11 事務所の計画 1 : 事務所のあらし／計画の進め方
- 12 事務所の計画 2 : 事務所の平面計画／各部の計画／演習問題／実例
- 13 幼稚園の計画 1 : 幼稚園のあらし／幼稚園の計画の進め方
- 14 幼稚園の計画 2 : 幼稚園の平面計画／演習問題／実例
- 15 図書館の計画 1 : 図書館のあらし／計画の進め方
- 16 図書館の計画 2 : 図書館の平面計画／各部の計画／演習問題／実例
- 17 試験

【履修上の注意事項】

出席率が 1 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40 点満点) と試験点数 (60 点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

初めての建築計画 <建築のテキスト>編集委員会編 学芸出版社

【参考文献・その他】

特になし

【科目コード：建 010】

科目名	建築施工	科目区分	専門
履修時間	68 時間	講義コマ	34 コマ
開講学期	通年	授業形態	講義
対象学年	1 年	単位数	4 単位
担当講師	宮城 敦	実務経験	建築設計事務所勤務経験

【授業のねらい】

建築工事の仮設工事、躯体工事、仕上げ工事、設備工事について概説する。

【授業の展開計画】

(各 4 時間)

- 1 施工計画・施工管理・工事準備
- 2 仮設工事
- 3 土工事・地業工事・基礎工事： 安全施設等／地盤調査／土工事／地業工事／杭工事
- 4 鉄筋工事
- 5 型枠工事
- 6 コンクリート工事
- 7 鉄骨工事
- 8 組積工事
- 9 木工事
- 10 防水工事
- 11 左官工事
- 12 タイル工事・石工事・塗装工事
- 13 建具工事・ガラス工事
- 14 内装工事・断熱工事
- 15 設備工事・各種工事・総合（屋根工事・金属工事）・施工用語・施工機械器具
- 16 積算・測量・契約・仕様書
- 17 試験

【履修上の注意事項】

出席率が 1 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

専門士課程 建築施工 福田健策 渡辺亮一 著 学芸出版社

【参考文献・その他】

特になし

【科目コード：建 019】

科目名	建築設計製図Ⅱ	科目区分	専門
履修時間	68 時間	講義コマ	34 コマ
開講学期	通年	授業形態	実習
対象学年	2 年	単位数	2 単位
担当講師	前里 悦子	実務経験	建築設計事務所勤務

【授業のねらい】

集合住宅、公共施設など大規模建築の設計と製図について学ぶ。

【授業の展開計画】

(各 2 時間)

- 1 建物を構成するスペース：エントランスの種類、階段、昇降機
 - 2 建物を構成するスペース：便所、コア、吹抜け空間
 - 3 建物を構成するスペース：勾配屋根・庇、駐車場計画
 - 4 構造計画：構造種別、プレストレストコンクリート梁（PC 梁）架構
 - 5 構造計画：地下階、基礎、ドライエリア、耐力壁、免震構造
 - 6 設備計画：空調設備、空調方式の種別、換気設備、排煙設備
 - 7 設備計画：給水設備、給湯設備、受変電設備、照明設備、設備シャフト
 - 8 法規の知識：建ぺい率・床面積、道路斜線制限、階段、防火区画、バリアフリー法
 - 9 エスキース法：環境条件を読みとる、アプローチの目安をつける、
 - 10 エスキース法：配置計画、屋外施設の設置、柱スパンを決める、建物のボリュームをつかむ
 - 11 エスキース法：面積計画、利用人数による所要室の計画、設置階を決める
 - 12 エスキース法：ゾーニング、動線計画、平面計画、コアの配置とプランニング
 - 13 エスキース法：宿泊施設のプランニング、集合住宅のプランニング、断面計画
- 実践設計製図
- 14 宿泊機能をもつ青少年センターの構成、主な所要室の特徴、課題文を読みとる、環境条件を読みとる
 - 15 配置計画、柱スパンの目安をつける、建物のボリュームと面積計画、コアの配置、動線計画
 - 16 平面計画、エスキースの決定、計画の要点等の記述
 - 17 完成図
 - 18－20 集合住宅設計 1： 設計条件の読み取り、エスキース
 - 21－22 集合住宅設計 2： 平面図
 - 23－24 集合住宅設計 3： 立面図、断面図
 - 25 集合住宅設計 4： プレゼンテーション
 - 26－29 公共施設など大規模建築物設計 1： 設計条件の読み取り、エスキース
 - 30－31 公共施設など大規模建築物設計 2： 平面図
 - 32－33 公共施設など大規模建築物設計 3： 立面図、断面図
 - 34 公共施設など大規模建築物設計 4： プレゼンテーション

【履修上の注意事項】

出席率が 1 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

1 級建築士試験最短時間で最良の解決！合格のための設計製図テクニックのすべて 木村武義
著 技報堂出版

【参考文献・その他】

初めての建築計画	<建築のテキスト>編集委員会編	学芸出版社
初学者の建築講座 建築計画	佐藤考一 五十嵐太郎	市ヶ谷出版社
コンパクト建築設計資料集成	日本建築学会編	丸善
建築設計資料	建築資料研究所	建築資料研究社
建築計画・設計シリーズ		市ヶ谷出版社
日建学院 1 級建築士設計製図試験課題対策集	日建学院編著	建築資料研究社
日建学院 2 級建築士設計製図試験課題対策集	日建学	